

春節（平成28年2月8日）を迎えるにあたり 防疫対策の再徹底をお願いします

★近隣諸国において、引き続き口蹄疫が発生しています。

- 韓国においてはH26年7月～H27年4月までに188件の口蹄疫（O型）が発生しています。
- またアフリカ豚コレラについては、2006年以降欧州やヨーロッパにおいて発生が続いているほか、口蹄疫に類似した症状を示す水胞性口炎についてもH26年以降、アメリカにおいて発生しています。

★対策として飼養衛生管理基準の再徹底をお願いします。

過去の口蹄疫発生の初発原因（下表4）は、畜産物・汚染物・人の移動、渡り鳥などが多くを占めています。

- 関係者以外の不要不急の立入を制限してください
- 入場者、車両の記録と消毒を！
- 野生動物等の畜舎内への侵入防止対策を講じてください
- 口蹄疫の発生国への渡航自粛をお願いします

表4. 過去における口蹄疫の初発原因(1870～1993年)*

感染源	発生頻度
汚染肉・畜産物・厨芥	66 %
風による伝播・渡り鳥	22 %
家畜の輸入・移動	6 %
汚染資材、器具、人	4 %
ワクチン(不活化不充分のもの)	3 %
野生動物	<1 %

*期間中の発生件数: n=627(USDA, 1994)

参考：動物衛生研究所

<http://www.naro.affrc.go.jp/niah/fmd/explanation/018087.html>

異常がありましたら家畜保健衛生所までご連絡ください。

中央家畜保健衛生所（西濃総合庁舎内）

〒503-0838 大垣市江崎町422-3

TEL: 0584-73-1111(内線314) FAX: 0584-73-4422

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

